

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【公表番号】特表2013-517476(P2013-517476A)

【公表日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2013-024

【出願番号】特願2012-548965(P2012-548965)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/574 A

G 0 1 N 33/53 Y

G 0 1 N 37/00 1 0 2

C 1 2 Q 1/04

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 39/395 T

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月30日(2013.12.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乳癌患者に対する治療を決定するためのデータを取得する方法であって：

該患者から得られた腫瘍細胞及び非腫瘍形成性細胞におけるPTENタンパク質発現の定量的測定を行う工程；及び

該腫瘍細胞におけるPTENタンパク質発現の該定量的測定値を該非腫瘍形成性細胞におけるPTENタンパク質発現の該定量的測定値と比較することによって、正規化PTENタンパク質発現スコアを算出する工程；

を含み、PTENヌルである該正規化PTENタンパク質発現スコアは、該患者がpan-ErbBチロシンキナーゼ阻害剤で治療されるべきことを示す、前記方法。

【請求項2】

前記非腫瘍形成性細胞が、間質細胞又は内皮細胞である、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記腫瘍細胞及び前記非腫瘍形成性細胞が、同じサンプルからのものである、請求項1記載の方法。

【請求項4】

前記pan-ErbBチロシンキナーゼ阻害剤が、PIK3CAのErbBの細胞内部分への不可逆的な結合を防止する、請求項1記載の方法。

【請求項5】

前記pan-ErbBチロシンキナーゼ阻害剤がネラチニブである、請求項1記載の方法。

【請求項6】

PTENタンパク質発現の前記定量的測定が：逆相タンパク質アレイ、ウエスタンブロット、又は半定量的もしくは定量的免疫組織化学（IHC）の1つ以上を含む、請求項1記載の方法。

【請求項7】

前記腫瘍細胞及び前記非腫瘍形成性細胞が、同じサンプルからのものである、請求項6記載の方法。

【請求項8】

PTENタンパク質発現の定量的測定を行う前記工程が、前記腫瘍細胞及び前記非腫瘍形成性細胞を染色する工程を含み、PTENタンパク質発現の定量的測定を行う該工程が、該染色細胞のデジタル画像を得る工程を任意に含む、請求項1記載の方法。

【請求項9】

前記正規化PTENヌルのスコアが0.15未満である、請求項1記載の方法。

【請求項10】

PTENタンパク質発現の前記定量的測定値が、PTENの光学濃度発現値である、請求項1記載の方法。

【請求項11】

患者の癌に対する治療を決定するためのデータを取得する方法であって：

該患者から得られた腫瘍細胞及び非腫瘍形成性細胞におけるPTENタンパク質発現の定量的測定を行う工程；及び

該腫瘍細胞におけるPTENタンパク質発現の該定量的測定値を該非腫瘍形成性細胞におけるPTENタンパク質発現の定量的測定値と比較することによって、正規化PTENタンパク質発現スコアを算出する工程；

を含み、PTENヌルである該正規化PTENタンパク質発現スコアは、該患者がpan-ErbBチロシンキナーゼ阻害剤で治療されるべきことを示す、前記方法。

【請求項12】

前記非腫瘍形成性細胞が、間質細胞又は内皮細胞である、請求項11記載の方法。

【請求項13】

前記腫瘍細胞及び前記非腫瘍形成性細胞が、同じサンプルからのものである、請求項11記載の方法。

【請求項14】

前記pan-ErbBチロシンキナーゼ阻害剤が、PIK3CAのErbBの細胞内部分への不可逆的な結合を防止する、請求項11記載の方法。

【請求項15】

前記pan-ErbBチロシンキナーゼ阻害剤がネラチニブである、請求項11記載の方法。

【請求項16】

PTENタンパク質発現の前記定量的測定が：逆相タンパク質アレイ、ウエスタンブロット、又は半定量的もしくは定量的免疫組織化学（IHC）の1つ以上を含む、請求項11記載の方法。

【請求項17】

前記腫瘍細胞及び前記非腫瘍形成性細胞が、同じサンプルからのものである、請求項16記載の方法。

【請求項18】

PTENタンパク質発現の定量的測定を行う前記工程が、前記腫瘍細胞及び前記非腫瘍形成性細胞を染色する工程を含み、PTENタンパク質発現の定量的測定を行う該工程が、該染色細胞のデジタル画像を得る工程を任意に含む、請求項11記載の方法。

【請求項 19】

前記正規化PTENヌルのスコアが、0.15未満のあらゆるスコアを含む、請求項11記載の方法。

【請求項 20】

PTENタンパク質発現の前記定量的測定値が、PTENの光学濃度発現値である、請求項11記載の方法。